

## 第14回かながわ寄付をすすめる委員会 結果概要

日時 平成25年3月19日(火) 10時~11時30分

場所 かながわ県民センター コミュニティカレッジ講義室2

出席者 委員8名(欠席:磯田委員)

### 1 開会

### 2 内容

#### (1) 寄附促進に向けたNPO認知度向上事業の振り返り

- ・NPO法人の寄付に関する実態調査は、寄付の実態がわかる大変よい資料であり、今後も定期的に調査したらいい。定期的に調査することで見えてくるものがある。
- ・かなチャリのアクセス件数がおよそ5万6千アクセスというのは率直に言って少ない気がした。FM横浜などの放送によって、アクセス数はもっと伸びると思ったが。
- ・ありがとうソングのCD配布も、県のHPに掲載してもらったが、申し込み希望者は0件だった。イベントと絡めた方がよいと思う。
- ・フィランソロピー協会のサービスラーニングの事業は、いろいろ課題があった。シティズンシップ教育と絡めて高校にアプローチした方がよかったのではないか。
- ・公立よりも私立へのアプローチを勧めたし、フィランソロピー協会から相談が来るのを待っていたが、こちらからもっと働きかけるべきだったか。
- ・県内の小中学校全校に「ご案内」を送ったというが、県内全域をターゲットにするのではなく、もっとエリアを限定して地域の校長会に出るなどのアプローチをすべきではなかったか。
- ・今回の経験を次の展開につないで、今後も県内での実績を作っていってほしい。
- ・ぐらすかわさきの「かわさきサポート基金」は、寄付を集めようという意識のある団体は集まったが、黙って口を開けていた団体は寄付は集まらなかった。
- ・何もないところからは、市民ファンドは立ち上げられなかったので、立ち上げのためのいいきっかけになった。
- ・共感獲得実践セミナーは、参加者も一定程度集まり、やってよかったと思う。費用のわりに効果が高かったと思う。
- ・今後、何かの機会があれば、神奈川の事例の紹介などをやれたらいい。
- ・こんなに多く寄付金控除の対象となるNPO法人が生まれている県は他にはない。神奈川県は進んでいると思う。

#### (2) 冬季キャンペーンの結果及び認定・指定NPO法人ガイドブックについて

- ・委員会として、指定NPO法人や認定NPO法人にまで働きかけを行うことができた。
- ・紙情報は、出した瞬間から古くなる。情報を追加していくことができたらいい。
- ・今、遺贈の相談が銀行にあっても、全部東京の有名な団体にもっていかれてしまうので、県内のNPO法人につなげるため、銀行や行政書士、税理士、公証人役場にガイ

ドブックを配ったらいい。ただし、ただ配ってもだめなので、県内のNPO法人のうち約2%、50団体のうち1つは寄付金控除ができる法人ですとアピールしたらいい。

- ・金融機関に配る際には、取り上げた認定・指定NPO法人に、そういうところに配っていますよと伝えておくことが大事だ。

### (3) 平成25年度からの「かなチャリ」の運営について

- ・平成25年度も「かなチャリ」は、NPOへの寄付促進部分はソーシャルコーディネーターかながわが、情報発信の部分は横浜コミュニティデザイン・ラボが担うことになり、県と三者協働という形で、協定書を交わして継続することになった。
- ・トップページのドメインは、ソコカナが「プラスチャリティ」というドメインをとって、新しく作るつもり。そこに、信頼が得られる団体への寄付促進を呼びかけるページと、旧かなチャリの「かなチャリNEWS」をぶら下げるイメージだ。

### (4) かながわ寄付をすすめる委員会の解散について

- ・委員会として、新しい公共支援事業に係るNPOへの寄付促進というテーマに取り組み、一定の役割を果たしたことから「かながわ寄付をすすめる委員会」は解散することとした。

## 3 閉会